

# ひびき hibiki

発行・編集責任者／取手市議会議長 佐藤隆治  
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局  
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139  
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)  
 ファクス 0297-74-1990  
 ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>  
 e-mailアドレス [gikai@city.toride.ibaraki.jp](mailto:gikai@city.toride.ibaraki.jp)

## 取手市議会だより第208号 2014(平成26)年11月1日発行

<紙面から>

取手市議会は、9月3日から26日まで平成26年第3回定例会を開催しました。9月の定例会は「決算議会」と呼ばれるように、市長から一般会計と8つの特別会計の決算が提出され、一般会計に対しては決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。また、11月8日(土曜日)の議会報告会の開催が決定しました。詳しくは3ページをご覧ください。

会計名	歳入総額	歳出総額
一 般	354億 2,665万 8,572円	345億 5,882万 6,118円
取手駅西口都市整備事業特別	23億 3,955万 4,537円	22億 8,616万 5,585円
用地先行取得事業特別	2億 8,964万 9,733円	2億 8,964万 9,733円
国民健康保険事業特別	131億 6,478万 1,594円	124億 2,638万 1,604円
後期高齢者医療特別	18億 9,327万 9,178円	18億 8,324万 7,467円
介護保険特別	63億 5,284万 6,478円	60億 8,623万 9,419円
介護サービス特別	2,074万 5,748円	1,970万 4,492円
競輪事業特別	9億 1,365万 1,697円	8億 6,285万 8,305円
公平委員会特別	77万 453円	49万 5,841円

# 平成25年度一般会計決算認定!! 取手駅西口都市整備事業など8つの特別会計決算も認定

25年度の一般会計決算は、決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。

〔決算審査特別委員会の構成〕

委員長 山野井隆  
 副委員長 渡部日出雄  
 委員 羽直一、結城繁、阿部洋子、吉田宏、染谷和博、飯島悠介、石井めぐみ、関戸勇

### ●一般会計決算：認定

〔本会議での討論〕

関戸議員：子ども医療費について小学校6年生まで無料化したのが、同時期に周辺で中学校3年生までの無料化が実施された。藤井市政の遅れが浮き彫りになった。小学校の統廃合に伴う通学路の安全対策が遅れ、来年4月の統合までには安全を確保し切れない事態。放射能に対する市民の不安は拭い切れていない。甲状腺の健康診断が今日まで実施されていない問題は、将来に禍根を残す。反対。

阿部議員：障害児の保護者を支援するペアレントトレーニング事業等、市独自の

の障害者支援が進んでいる。

農産物直売所「夢とり」への補助金交付による農産物の販路拡大は、生産者にとっても励みとなり、地産地消が進展することを期待。土木費では、地域の要望であった新川の市道の歩道確保のための測量設計が行われたこと、廃プラスチック資材を活用した公園ベンチの設置を評価。賛成。

川又議員：非常に取手市らしい決算ができています。当然これで良いと考えているが、ふるさと納税については、額が非常に下がってきているとのこと。これは特産品を（ふるさと納税者に）あげていないことが原因。特産品を来年度予算に入れることを提案して、賛成。

石井議員：藤代1号排水をはじめとした雨水排水対策を積極的に進め、また小学校や災害時の拠点となる市役所などの耐震補強も実施。

健康づくり推進事業に着手したことを評価。ウエルネスプラザに整備される健康

幸キッチンやトレーニングジム等が効果的に活用できるような事業展開を期待。

民間保育園の施設整備を補助し、取手駅前と井野保育園の分園が新設されるなど、高まる保育需要に対応していると感じる。賛成。

平議員：千葉県に破綻しかけています。なまちが出てきているので、くれぐれも気をつけてやっていただきたい。賛成。

山野井議員：藤代庁舎前にある水と緑と祭りの広場は野外ステージを設置したことは市内内外の人を呼び込む手段として有効であり評価。

産業活動支援事業によって、複数の企業が市内進出、または事業拡大を果たし、新たな雇用も生まれ、地域経済活性化に貢献している。

災害から市民の生命と財産を守るため、戸頭消防署改修工事、化学消防自動車購入、消防団への消防自動車購入など計画的に装備等の充実を図っている。賛成。



# 特別会計決算の認定

## ●取手駅西口都市整備事業特別会計決算：認定

〔討論〕

池田議員：今後の税収の減と民生費などの必要経費の増を考えると、必要最小限の事業を取捨選択して行っていくなければならぬ。西口の機械式自転車駐車場や歩行者デッキ（延伸）は不要であり、決算に賛成できない。今後は何が優先されるべきか取捨選択をしていただきたい。反対。

加増議員：市民の合意もなく進めてきた駅前開発、その財源は市民の税金。駅前の箱物建設に熱中するのではなく、身近な生活基盤整備こそ優先すべき。建設事業の入札に関わる疑いが指摘され、合併目的に合致しない合併特例債の活用等においても市民の願いからはほど遠い。反対。

入江議員：サイクルステーションとりでは、単なる駐輪場の役割を超えて駅前にあふさわしい品格ある施設となっており、景観形成の一役を担っている。またデッキ完成によって、西口の人々の流れが約1.5倍に増えたという調査結果。これらの事業によって活性化の兆しが見えてきた。賛成。

## ●国民健康保険事業特別会計決算：認定

〔討論〕

結城議員：公共施設というのは、できてしまえばそれなりの効果を上げるが、維持管理費が必ずかかる。それに見合う効果を上げるためにも全体計画の中で総合的な管理が必要となる。素早い対応をしなければ持続可能なまちとならないことを指摘し、改善を求める意味で反対。

山野井議員：歩行者デッキ整備により、治助坂利用者のバリアフリーが図られた。サイクルステーションとりでの整備により、自転車通勤・通学者にとって利便性が向上し、ウェルネスプラザとともに駅前のシンボルとして20年もの間放置された駅前開発が前進。駅前活性化を期待し、賛成。

## ●介護保険特別会計決算：認定

〔討論〕

加増議員：来年度は保険料改定の年だが、担当課は値上げはやむを得ないとの答弁。介護保険を安心して利用できるように、市は国に財政支援を求め、同時に市独自の介護制度の拡充を図り、高齢者等の負担軽減に力を尽くすべき。反対。

加増議員：入場者が減り収入も見込めず、逆に財政を圧迫するのは。市はわずかな収益にしがみつき、それがまちづくりや経済に障害をもたらし、市の衰退の要因になっている。反対。

結城議員：今、自転車が健康という意味でもはやさされている。取手には競輪場があるのだから、自転車を使ったまちづくりを推進すべき。取手としてどう利用して、どう発信していくかが大事。賛成。

## ●税条例の一部改正：原案可決

〔討論〕

鈴木議員：税金の安さや利便性により低所得者ほど軽自動車を購入している。国の言いなりでなく、上げ幅の小さい独自の条例案を検討すべき。反対。

平議員：軽自動車は事故に遭ったとき死ぬ確率が高いが、これまで生きてきたからもういいかと、お金を浮かすために悩んでいる人たちがしがみついている。反対。

## ●行政財産使用料徴収条例の一部改正：原案可決

〔討論〕

池田議員：私は前回の議会一般質問の中で、エネルギー消費地から生産地への転換を訴えた。転換への第一歩。賛成。

染谷議員：太陽光発電を推進するということ意気込みを感じる。災害時における公共施設機能の強化、地域経済の活性化も図られる。賛成。

## ●学校設置条例の一部改正

〔討論〕

鈴木議員：何度も話し合いを持たれてこの校名に決めたという地元の声も聞くが、そもそも地元や子どもたちから出た話ではなく、無理な統廃合に伴うもの。安易に統廃合すべきではないという観点で、反対。

川又議員：私はこの統合に反対してきたが、このまま反対し続けても子どものためにならないという地域の意見が届けられた。取手「西小」ということであれば今までどおり地域の学校として支援していける。賛成。

平議員：川又議員が言ったように、私の場合も非常に複雑な気持ちで賛成に回る。国の問題だったら反対するが、市の問題で非常に責任があること。賛成。

# 市長提出議案



市道0130号線から佐貫駅方面を望む（進路の左手が龍ヶ崎市）

●市道0130号線の区域外設置：原案可決

同市道の改良工事に伴い、道路の一部が龍ヶ崎市となるので、道路設置の協議を行うために議会の議決を求めるもの。

〔討論〕

市村議員：住民以外の方々も多く通行する道路。安全に配慮した生活道路を市で推進してほしい。賛成。

遠山議員：歩道設置の長年の地域要望がいよいよ実現する。こうした市民に身近な生活道路の改善に取り組むべき。賛成。







購入が決定した車両と同型の救急自動車(桐木消防署配備)

高規格救急自動車購入契約の内容

契約相手	茨城トヨタ自動車株式会社
契約金額	3,680万円(諸経費及び税込)
契約方法	指名競争入札
高度救命 処置用 資機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気道確保用資機材</li> <li>・自動体外式除細動器</li> <li>・心電計と心電図伝送装置</li> <li>・輸液用資機材</li> <li>・血中酸素飽和度測定器</li> </ul>
納入期限	平成27年3月31日

●茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更：原案可決  
 地方自治法の改正に伴う条文の整理。  
 〔討論〕  
 関戸議員：これまでも関連する議案に反対の意見を述べてきた。今後の展開や負担等についても心配。反対。

●高規格救急自動車購入契約の締結：原案可決  
 吉田消防署に配備する高規格救急自動車購入の仮契約を締結したことに伴い、議会の議決を求めるもの。  
 〔討論〕  
 市村議員：救急出動が増加している中、安全安心に配慮し、災害への備えとしても必須である。賛成。

●産業活動支援条例の一部改正：原案可決  
 条例の施行期間を平成32年3月まで5年間延長し、市内産業の振興と雇用機会の拡大を図るもの。  
 〔討論〕  
 遠山議員：新規雇用につながっているのは承知だが、奨励金の額からすると決して多くない。もつと地元中小企業が対象となるよう拡充が求められている以上、再検討を求める。反対。  
 池田議員：今まで活用された結果、事業所7社で209名の正規雇用へと結びついている。ただ残念なのが、この条例の周知。市民が出店しようと銀行等に行っても条例の説明はなかった。再度工夫を。賛成。

①家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例  
 ②特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例  
 ③放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例：いずれも原案可決  
 平成27年度の子ども・子育て支援新制度実施に伴い市の各基準を定めるもの。  
 〔討論〕  
 加増議員：公的保育の責任放棄の道を開くもの。①②に反対。また市には放課後子どもクラブの設置・管理条例があり、事業の基準だけの条例を加えるのは、整合性に問題。③に反対。  
 齋藤議員：取手市の全ての子どもたちが笑顔で成長できるように、全ての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるよう期待。①②③に賛成。  
 池田議員：待機児童ゼロを目指すため各市町村の状況に合った保育事業を認可するなど柔軟に対応できるようにになると理解。取手に合った保育が受けられるよう注視したい。①②に賛成。  
 平議員：財源がないから消費税を使うと言って、0.7兆円しか入らないから、あとの0.3兆円は地方でやれと。民意が反映されない。①②③に反対。

# 意見書

●消費税増税の中止を求める意見書：原案可決  
 〔提出者〕  
 関戸議員ほか1人

池田議員：8%から10%への消費税アップは、国民の生活をますます圧迫し、景気を低迷させる結果にしかならない。賛成。  
 遠山議員：国民の懐を暖めず、法人税の減税、大企業への優遇政策、大型公共事業の復活。経団連は、それ

に企業献金の復活で応えようとしている。賛成。  
 平議員：既得権者の意向に沿って誘導されてはいけない。思慮深く積極的な行動を、それが社会をよみがえらせる原動力になる。賛成。

●軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定にむける意見書：原案可決  
 〔提出者〕  
 阿部議員ほか4人

池田議員：軽度外傷性脳損傷は転倒、転落等により頭部に衝撃を受けた際に、脳が損傷し発症する病気。特に中学校で柔道が必修科目になったことを考えると、取り組みは必要。賛成。

●奨学金制度の充実を求める意見書：原案可決  
 〔提出者〕  
 染谷議員ほか3人

〔討論〕  
 平議員：奨学金、これは払わなくてもいいお金としてつくっていかねければならないと考える。賛成。

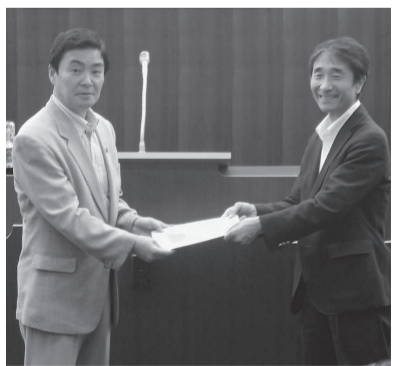
## 開催！ 11月8日議会報告会

市民の皆さまに定例会の報告を行うため、5月に引き続き、今年2回目の議会報告会を開催します。  
 入場は無料で、どなたでも自由にご参加いただけます。  
 皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- 〈日時〉 平成26年11月8日(土曜日) 午前10時から11時30分まで
- 〈場所〉 取手市立福祉会館3階 講座室C (取手市東1-1-5)
- 〈内容〉 平成26年第3回定例会での審議内容の報告

取手のお財布チェック！ 子育て支援はどうなる？ 政務活動費等

5月の議会報告会で来場者の皆様から寄せられた貴重なご意見を市長に提出しました。





# 皆さんの希望です 請願・陳情

請願・陳情は、皆さんのご意見、ご希望を市政に反映させるための制度です。請願を行う権利は憲法で保障されており、地方議会は、法の定めにより議員の紹介を通して行わなければなりません。一方、陳情は、取手市議会では、議会会議規則第145条により、議長が認めたものについては請願と同等に取り扱うことになっています。

## 請願

●政府による緊急の過剰米処理を求める請願：不採択  
米価の暴落が懸念されている中、政府に需給調整のための過剰米（生産量が消費量を上回ったため生じた政府貯蔵米）処理を緊急に実施することを求めるもの。

〔紹介議員〕  
遠山議員

〔討論〕

遠山議員：農業委員会から、数年来、米価が下がり、農家の生活が成り立っていない。農家の悲痛な声に応えるため、請願の採択を訴える。賛成。

平議員：私たちが大同団結し、政治の刷新は必ず実現する。という結論を出さなければ、私たちに未来はない。賛成。

池田議員：米生産地の北海道東北地方知事会は、過剰

米対策を農水省に要請。米の値段が暴落しており、早急に対策を行うべき。賛成。

●農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願：不採択

政府の進める「農業改革」を農業の軸を家族経営とし、諸制度の充実、農業委員会、農協の役割の強化等を求めるもの。

〔紹介議員〕  
遠山議員

〔討論〕

遠山議員：国際的に家族農業が再評価されている中で、農業経営の規模拡大、法人化、企業参入の促進は、本来の日本の農業をつぶすことになる。賛成。

池田議員：水田は、温暖化防止、防災、生物の多様性を守る働きがあり、守ることは環境保全を進めること。農政改革は生産者が自由に決めべき。賛成。

●養育者支援手当の創設と実施を求める請願：不採択  
現行制度上、児童扶養手当を受給できない年金受給者のために、市が代わりに「養育者支援手当」を創設し、支給することを求めるもの。

〔紹介議員〕  
遠山議員

〔討論〕

遠山議員：野田市は、父母と生計を同じくしない児童の家庭生活の安定と自立の促進を図るため手当を創設した。市の子育て支援のさらなる充実を求める。賛成。  
市村議員：求めるものは子どもの尊厳の保障。支給対象者も数名との予測であり、十分可能ではないか。政治は弱者のことを忘れるべきでない。賛成。

池田議員：平成25年6月に子どもの貧困対策法が成立し、解決に向けた社会の動きがある。市も解決方法として養育者支援手当を創設することが必要。賛成。

飯島議員：貧困は連鎖すると言われ、手当を出す一方で原因究明、根治的対応が求められる。暮らしを支える事業が範囲を広げていくことを求め、賛成。

●新道根柢急傾斜地・市道の安全対策を求める請願：趣旨採択（※）  
新道根柢（東）の急傾斜地周辺住民の生命と財産を

守る次の対策を求めるもの。  
①急傾斜地の上の市道に転落防止用のガードレールやフェンスを拡充すること。  
②急傾斜地への雨水の浸透を避けるための側溝の整備、道路改修を行うこと。  
③県に急傾斜地の崩落防止対策を求めること。

〔紹介議員〕  
吉田議員ほか1人

〔討論〕

鈴木議員：急傾斜地のがけ側に側溝は無理、路肩に土手を作るほうが効果的という委員会での市の説明に賛同された委員もいた。趣旨採択とする根拠にはなり得ないのではないか。請願を採択すべき。趣旨採択に反対。

※趣旨採択：請願や陳情の願意は妥当であるが、制度上、財政上の理由等で実現性が低いような場合に「趣旨には賛同する」という意味で趣旨採択を用いる。



急傾斜地上の市道(東)

## 陳情

●子どもたちの放射能被ばくに対する集団健康診断のすみやかな実施を求める陳情書：趣旨採択

〔討論〕

平議員：国が対処できていないならば、人々が頼るのは地方自治体である。住民は、子孫など未来の希望を持つことは許されなくなってしまう。趣旨採択に反対。  
関戸議員：二度と同じ過ちを起こさないために、市は子どもの未来に責任を持つ者として、可能な限り手を打つべき。陳情に賛成の立場から趣旨採択に反対。

池田議員：子どもたちの健康と命を守ることに対し誰も異を唱える人はいない。趣旨を理解し、市が可能な範囲で実行するための、趣旨採択と理解して賛成。

●取手市版「自治基本条例（※）」制定についての陳情書：採択  
取手市版・自治基本条例を、市民、行政、議員の共同により、平成31年度をめどに制定することを求めるもの。

〔討論〕  
入江議員：期限を定めて進めるものではなく、市において機運が熟したタイミングで進めてこそ、実効力の

伴う条例となり、制定の意義がある。反対。  
結城議員：陳情が市民から出たということを考慮すべき。議会で陳情を採択し、これを市民と一緒に行政も含めて考えていくことが求められている。賛成。

関戸議員：陳情は、市民が自分たちのまちの将来について自覚し、権利、義務、責任を持って対応するという基本にかかわるものである。賛成。

※自治基本条例：住民自治に基づく自治体運営の基本原則を定める条例。情報共有、市民参加、首長・行政等の役割と責任、住民投票など、自治を推進することを目的とする。

●庁議付議書（※）、新フォーラム制定についての陳情書：不採択  
〔討論〕  
関戸議員：陳情内容は市が努力することを求めるものであり、難しいものではない。願意をしっかりと受け止めるべきだ。賛成。

※庁議付議書：庁議とは、市長が主宰する市政運営の基本方針の決定や部局間の総合調整等を行う会議。庁議付議書は、その庁議に議題を提出するため、市職員が案件の内容をまとめたもの。



# 一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。  
この質問を「市政に関する一般質問」といいます。  
今定例会では、20人の議員が一般質問をしました。  
その状況について、ご紹介いたします。

## 高齢者の住み替え促進制度の導入を！

染谷 和博 議員

**問** 流山市では、子どもが独立して広い家の手入めに悩むシニア世代と広い家を希望する子育て世代とのギャップを埋めるため、住み替えの相談窓口をつくった。設置に当たっては1年間かけて宅建協会・建築士・工務店・金融機関・商工会議所と市職員が検討した。市の介入による安心した相談を実施し、若い世代の定住を促す考えである。他の自治体も様々な取り組みをしているが、市の取り組みは、建設部長 当市での導入には、不動産業者や建築業者など外部団体の協力が必要。先進地の状況を研究したい。

**問** 品川区の品川後見センターが実施する「あんしんの3点セット」(①あんしんサービス契約②任意後見契約③公正証書遺言作成支援)は、日本一の取り組みだと思ふ。市の取り組みについて伺う。

**健康福祉部参事** 定期的訪問を内容とする①は、取手でも同様のサービスを行っている。②③については相談があったときは関係団体へつないでいる。需要を踏まえて研究していきたい。

## 市が目指す子育ては？

齋藤 久代 議員

**問** 住宅行政の質問に建設部が答えていることに無理があるのでは。もっと広い視野で行ってほしい。住宅行政はどうなっているのか。

**建設部次長** 市の事務分掌で管理課住宅係に「住宅政策に関すること」とあるので回答したが、政策的な部分ではもう少し動ける必要があるというのを感じている。計画的なもの他課と調整していく思いはある。

**問** 人口減少の深刻さは社会全体の共通理解になっている。市は総合計画で人口の分析を行い、少子化対策を最重要課題と捉えて、医療費助成の拡充などを実施したが、あるべき将来に向けて従来どおりの取り組みだけでいいのか。人口減少が予想される状況での、市の対応について伺う。

**市長** 個別の支援策は手を打っている。人口減少は、国より先に取手に来ると認識している。全庁的にしっかり取り組んでいきたい。

**問** 放課後子どもクラブ事業は時代をリードしており、市はもっとアピールしてもいいと思う。江戸川区のすくすくスクール事業の効果に生きる力をつけると

## 異常気象対策と市の収支バランス

平 由子 議員

あるが、放課後子どもクラブ事業の効果については、どのように捉えているか。

**教育長** 学校では、生きる力ということで確かな学力、豊かな心、健康と体力をつける教育を進めている。放課後子どもクラブでは、安全な場所で過ごすことをメインに行っているが、その中で学びの場の充実や、ボランティアの力を借りた体験の場や、異年齢集団での交流の場を通して生きる力を高めたいと考えている。

**問** 子ども議会開催について、一番身近な政治の現場は市議会。民主主義社会は、一人一人が決断して投票行動を行わなければならない。ぜひ取り組んでほしい。

**市長** 我々より議会がリッダシップをとれば、次の議会人がたくさん出てくるのではないか。

**問** (1) 各地で異常気象が多発。同じ場所でも雨が降ることについての対策は。(2) 政権は訳の分からない状態。多くの本に既得権の利権構造を封印しなければ危うい状態になるとあり、本当に大変な時代。分権国家という名前をもらった市は、管理運営できるのか。

## 子育て対策と奨励金の拡大

阿部 洋子 議員

**市長** (1) 1時間50ミリの内水に対応できる排水機能を持たせることで取り組んでいる。住宅が密集した低地では水はけが悪いところが多々あるので、井野雨水幹線等では抜本的な対応をとる。大雨等の情報は、地域防災計画等に対応し、空振りを恐れず早めの勧告を行うことが必要。また、自宅の排水が川に流れることが、地域を挙げて理解を深めることが大事だと思う。

(2) 市に関する話だけで言うと、25年度決算では一般会計・特別会計において赤字の会計は一つもない。経常収支比率・将来負担比率も改善しており、行政改革の成果が形になっている。今後も持続可能で健全な財政運営に努めていきたい。

**問** 子育てにおいては、周囲からの孤立化とともに、情報過多による不安の増大が深刻化しており、母親がインターネット等から情報を得て、マニュアルどおりに行かないと罪悪感や不安感を抱く傾向があると指摘されている。きずなメールは、出産後に夫婦に定期的に育児アドバイスなどのメール

## 議会情報はコチラ

○ひびきメール  
(登録手続きが必要)



○取手市議会公式  
Twitter  
(ツイッター)



が届き、誰かとつながっていたり、夫と共通の情報を持つことにより夫婦の理解が進む効果があり、孤独な子育ての予防に効果を発揮している。きずなメールは、自治体、産科医、小児科、子育て支援団体と協働してオリジナルメールとして配信しているのが大きな特徴。共同事業として配信を始めた自治体もあるので、市も取り組んでみてはどうか。

**健康福祉部長** ホームページにママフレを開設して、市の事業を紹介しているので活用していきたい。また、20代前後の女性を対象に結婚前の取り組みについての講演会を計画している。

**問** スポーツ奨励金について、文化面で活動する青少年もいる。枠の拡大をしてほしい。

**政策推進部長** 部活動は、スポーツも文化もあるので、文化に奨励金がないのではモチベーションが下がる部分もある。対象範囲など難しいところがあるが、前向きに検討していきたい。



## 双葉地区の 排水・浸水対策

石井 めぐみ 議員

**問** 双葉団地は水に囲まれ、静かな住みよい田園宅地であるが、昔から水害に悩まされている。勘兵衛堀は農業用排水の役割を担っているが、稲作の時期は水が少し増しただけで、住宅地に水が流れ込んでくる状態である。旧藤代町時代に水漏れを防ぐため堀を設置したが、水はそれを越えて浸水し、東日本大震災により堀に割れ目が入り水漏れしている状況であるが、対応は。

**建設部長** 道路のかさ上げ工事を秋には実施したい。  
**問** 水がたまる場所は、住宅地側の土手が50メートルほどで約50センチ沈下しており、台風や豪雨のときは住宅地に水があふれている。何十年にわたって問題



勘兵衛堀周辺(双葉)

の場所であるが、市の対応の考えは。

**まちづくり振興部長** 新川第1排水機場から小貝川に排水しているが、運転は取手市・つくばみらい市・福岡堰土地改良区で協議会をつくり管理している。運転において、水位が一番重要と考えているので、浸水を来さない運転に、まずは注意をしていきたい。

**問** 職員がどう動いているか地域の方の目に見えていない。豪雨時の対応やポンプを回す時期などのマニュアルを作成してはどうか。

**農政課長** 水位計がないため県に設置を要望した。排水機場と勘兵衛堀の水位を照合し、この水位になれば運転をしないと浸水するという目安を作っていく。

## 自主防災組織と 消防団との連携を！

吉田 宏 議員

**問** 市は平成20年8月のゲリラ豪雨や平成23年3月の東日本大震災など大きな災害に見舞われた。災害時は、個人で対応できないことも数多くあるが、地域の自主防災組織の状況は。

**総務部長** 86組織。  
**問** 組織されていない地区はあるのか。

**総務部次長** 加入世帯は3万6800世帯で約80%

が加入。地区は、行政区で細かく分かれている地区もあるので明確に出していない。

**問** 自主防災組織は、毎年防災訓練を行っているのか。

**答** 30組織から消防本部への報告が来ている。

**問** 消防団と連携して訓練を行っている組織はどのくらいあるのか。

**答** 消防本部と訓練を行っているのは23組織あった。その中で消防団に参加依頼があったのは6組織である。

**問** 災害発生時において、地域での共助の部分として、自主防災組織と地元消防団との連携は非常に重要なことだと思いが、どのようになっているか。

**答** 地域で災害が起きたときに一緒に活動することが重要だと認識している。自主防災組織に消防団も一緒に防災訓練を行うことをお願いしていきたい。

**問** 世帯加入率が80%とのことだが、消防団から自主防災組織の立ち上げの促進をしてもえれば加入率が上がると思うが。

**答** 消防本部と調整して行っていく必要がある。

## 放射能に対する 健康診査の実施は？

川又 貞男 議員

**問** 放射能に関しては、いろいろな説があり、安心の

基準がはっきりしない。母親は本当に大丈夫かと心配している。小学生以下の希望者に対して、市が見てあげてはと思うが。

**副市長** 市が健康への影響を検証するのは難しいので、国の責任と考える。国の専門家会議や福島県が行う健康診査の委員会での検査を実施した結果、被曝の影響は考えにくいとの結果が出た。健康調査の結果等を含めて、改めて放射線の健康影響に関して情報を提供したい。

**問** 放射線量が取手よりも低い市町村が検査を実施している。なぜ実施を考えてくれないのか。

**市長** 線量は、万が一を考えて学校等の除染をしっかりとやってきた。専門家の所見では、福島県と他県との検査の結果、差異が認められなかった。むしろ怖いのは、学校給食で汚染されたものが混入されることなので、そのリスクを防ぐため学校給食の食材検査に力を入れて行っている。

**問** 他の市町村がどこまで支援しているか研究して実施したほうがいいのでは。

**副市長** 健康調査を実施した市町村に聞いたところ、重大な結果は報告されていない。国の専門家の意見を参考に慎重に取り扱ったほうがいいと思う。市が健康

調査をすることは危ないという誤ったシグナルを出す危険性もあるので、今後専門家を呼んで講演会を開催していきたい。



学校給食の食材検査の様子

## 胃がん検診と 健康福祉まつり

山野井 隆 議員

**問** 胃がん患者の95%がピロリ菌に感染していたというデータが出ており、兵庫県篠山市では市内中学校1年生を対象に検査を実施する予定。早期に発見したほうが除菌効果があるので、市の胃がん検診の中で、ピロリ菌の検査も同時に行っているかどうか。

**健康福祉部次長** 国の胃がんのガイドラインとして（胃がんとピロリ菌感染の因果関係の）証拠が不十分で、まだ検診には取り組めないという判断が示されている。医師会の中でも、がん検診の中にピロリ菌検査

を入れるか検討のさなか。今後実証されれば標準化されていくと考える。

**問** 健康福祉まつりについて昨年と変更したものは。

**市長** 今年もデューク更家さんによるウォーキングレッスンをを行う。新しい要素を入れ、楽しい内容になると思っている。

**健康福祉部長** 今回新たにJA農産物直売所「夢とりで」から地産地消と食育をテーマに出店をお願いした。講演会としては健康セミナーを2つ用意。さらに認知動作型トレーニングマシンの体験コーナーも設置する。模擬店等もあるので、天気よく当日を迎えたい。

**問** 広告媒体はどのようなものを考えているのか。

**社会福祉課長** 市広報及びホームページの掲載とチラシ、ポスターを増刷し配付した。



認知動作型トレーニングマシン



## 豪雨対策と避難情報について

金澤 克仁 議員

**問** 大雨が予想される際に急傾斜地・がけ地の点検はどのように行っているのか。道路課長 市が点検を行うほか、各地区の自主防災会の組織に注意喚起をお願いしている。

**問** 8月の広島市での災害の報道では、事前に様々な予兆があったとのこと。市はどのように知らせるのか。総務部次長 自主防災会組織の中で、急傾斜地及び土砂の警戒区域等が含まれるところには、警戒をお願いしている。

**問** 市の雨水排水対策の整備状況は。市長 大雨に対して非常に弱い地域がある。改めてしっかりと雨水対策を強化していきたい。

### 「避難勧告」と「避難指示」の違い

#### 避難準備情報

・避難勧告や避難指示を行うことが予想される場合に発令。高齢者ら避難にかかる人に早めの避難を促す

#### 避難勧告

・災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令。対象住民に避難を勧めるが強制するものではない

#### 避難指示

・状況がさらに悪化し、災害による人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令。避難勧告よりも強制力は強い

強制力強い

**問** 台風や災害時に出す避難指示等の基準は。総務部長 避難勧告や避難指示の前に、早めに避難準備情報を出していく判断をしたが、国の避難勧告の判断伝達マニュアルのガイドラインに沿って、空振り

を恐れずに対応したい。**問** 避難準備情報、避難勧告、避難指示の違いは。総務部次長 「避難勧告」は人的被害が発生する可能性が高い場合、「避難指示」は、被害の危険性が非常に高い場合に市が発令する。「避難準備情報」は、避難勧告・避難指示の恐れがあるため、自力避難のできない方の避難を含め、避難準備を呼びかけるもの。

**問** 市民には、どれが一番強い指示なのか分かりにくい。周知徹底を。答 広報及びホームページ等に、表などで分かりやすく明示していきたい。

## 次世代を担う若者の呼び込みを！

鈴木 潔 議員

**問** 若者の呼び込みは必須の課題であるが、対策は。健康福祉部長 出産から子育てにおける保護者の相談を含めた、切れ目のない福祉の充実を進めている。

**問** 医療費助成がやっと中学生まで広がり、他市並みとなった。子育て世帯を呼び込むには、18歳への年齢引き上げを行うべき。また、窓口負担は全廃すべきだと思ふ。国保年金課長 年齢の引き上げは考えていない。窓口負担は、このまま行いたい。

**問** 保育料の無料化及び減額の考えは。健康福祉部長 子育て三法改正による保育料の見直しを行っているが、高くならないように考えている。

**問** 給食は食育の一環。義務教育で行われる給食の無償化実施の考えは。教育部長 法により費用の区分が決められており、食費として給食費を徴収している。現段階では無料化は考えていない。

**問** 子どもの安全安心のために甲狀腺がん検査を一部助成でも実施すべきでは。市長 生命を守る政策としては、学校給食における食

材検査を継続する。また、甲狀腺がん検査は科学的な所見に基づき、丁寧に講演会等を実施していく。

**問** 人口増加のため、子育て世帯の国民健康保険税、年1万円の軽減を求める。国保年金課長 被保険者数減少に関わらず医療費は増大。引き下げの考えはない。

## 藤代駅北口前の改善

遠山 智恵子 議員

**問** 藤代駅北口改善を市民と協働のまちづくりの観点から、駅前地権者や利用者等、市民の意向をどのように取り入れるのか。都市整備部長 藤代駅北口の改善に関わる整備計画の策定に着手し、詳細な実態調査を実施する。

**問** どのような実態調査を行うのか。都市計画課長 駅利用を目的とした歩行者や自転車、安全に通行できる道路、バス、タクシー、送迎車両の駐車できる駅前広場とすることを目的とし、駅利用者アンケートの実施を予定。

**問** 藤代駅北口の駅前広場ロータリーをどのように考えているのか。都市整備部長 藤代駅の北口は、横に広く鉄道に沿って、自転車駐輪場、タクシー待機場、バスのロータリー

があるが奥行きが浅く非常に不便である。これから、利用車両等の現状を把握しながら、整備計画を策定したうえで、関係機関と協議を進めながら決定していく。

**問** 今後の見通しとスケジュールはどのようになっているか。都市計画課長 駅前広場にアクセスする道路は、県道では藤代停車場線であり、県との協議が必要になる。また、郵便局から来る道路と、自転車駐輪場に向かう道路は市道なので庁内で協議が必要になり、それぞれ整備手法や時期などを定めていく。



藤代駅北口(タクシー待機場)

## これからの公共施設

結城 繁 議員

**問** 公共施設マネジメント白書及び公共施設保全計画策定調査報告書の検証は。財政部長 公共施設の劣化状況、老朽化状況の見える

化を図り、改修及び修繕等の優先度が定量化された。今後、どのように保全管理にかかる経費を予算配分に有効に結びつけるかが課題である。

**問** 各施設を長きにわたり保全をしながら修繕することは可能か。公共施設整備課副参事 施設を全部建てかえていくのはできない。

**問** 職員間でこの事業の情報共有されているのか。答 機会あるごとに情報を共有している。**問** 職員が危機感を持つ必要がある。今後どのように取り組んでいくのか。答 危機感を持つてマネジメントに取り組むことは重要なことと認識している。今後、策定が予定されている公共施設等総合管理計画に取り入れていきたい。

**問** どのように取り入れていくのか。答 この計画の目的は、公共施設の最適な配置であり、建物現況調査のデータを活用し、市の実態に合ったものとして、公共施設マネジメントの基本計画等をこの計画にかえて策定していきたい。

**問** 統廃合の計画で旧一中の今後の計画は。政策推進部長 有効な活用方をコンサルタントに調査委託しており、利活用を図っていく。



## 子どもたちの教育環境の充実を！

池田 慈 議員

**問** 「子どもと親の相談員」の保護者への周知方法は、教育長 小学校低学年の保護者に、1学期最初の授業参観と学期末にお知らせしている。

**問** 相談は担任の同意がないと相談できないと聞くが、相談者が相談しやすい体制はとられているか。

**指導課長** 子どもの状況に合わせて、必ずしも担任を経由しなくても相談に応じられる体制をとっている。

**問** 相談者との相性の問題から、相談員を1校1名ではなく複数にはできないか。

**答** 複数での相談員の配置計画はないが、県のスクールカウンセラーの配置があり、相談員と複数体制で対応している。

**問** 小中学校のバリアフリー化について、大規模改修工事に合わせて行うのか。

**教育総務課長** 学校内の（教室等の）配置、構造を配慮しながら進めていく。

**問** 7月に通学路交通安全対策プログラムが策定された。通学路の安全対策の現状と今後のスケジュールは。

**教育次長** 学校から新たに危険箇所（改善）の要望が

出され、PTAと学校の代表を加えた通学路交通安全対策推進会議がその調査と対策の検討を行った。今後は対策の進捗を確認していく。

**問** 学校図書館の充実として、中学校に各1名の図書司書助手を配置と、開館時間の延長を。

**教育部長** 来年4月から、中学校に各1名を予定しており、開館時間の延長も含めて図書の充実も図っていききたい。



戸頭東小学校大規模改修の様子

## 競輪事業からの撤退を！

加増 充子 議員

**問** 公営ギャンブル、競輪場の存在が、今後の取手のまちづくりと地域産業に与える影響は。

**まちづくり振興部長** これまで市の財政に対して多大



取手競輪場正門(白山)

な寄与をしてきた。県でもより収益が上がるよう考えており、一緒に検討している。

**問** 事業の継続は取手のまちづくり、産業振興にとってマイナスの影響を否定できないと考えるが。

**答** 競輪場は震災で被害を受けたため、外見上は余り変わっていないが、中身はきれいに改修を行っていき。県は競輪場の整備に非常にお金をかけていることから、今後も有効活用していくことを考えており、競輪場はあくまでも県の施設であるため、市の意向に関わらず存続していく状況にあると考えている。

**問** ギャンブル施設ではなく、文化、スポーツなどの施設であれば、学校教育、社会教育でも大いに活用できるが、他の施設への転用についての考えは。

**市長** 県から違う目的に転用する話があれば、しっかりと

と跡地利用の話をしていくが、現在は県の施設である。

**問** 跡地利用に当たって、市民アンケートや公募、市民を含む検討会などをこれから考えてはどうか。

**まちづくり振興部長** 県の施設ということで、県はお金をかけて改修し、今後収益を上げることで進めている。跡地利用を市民と一緒に考えるのは失礼な話ではないか。

## 災害時におけるトイレ対策は？

落合 信太郎 議員

**問** 住んでいる地域で災害が起こったとき、どのくらいの避難者が来ると想定しているのか。

**総務部次長** 避難所別に何人という想定は行っていない。

**問** 市全体では試算しているか。

**答** 市の地域防災計画書では約3万3000人。県とのやりとりの中では、県の施設も含めて3万8000人となっている。

**問** 今後、具体的にそれぞれの学校単位などで試算を出す考えはあるか。

**答** 今のところ予定はない。

**問** 市は仮設トイレの備蓄をどれくらい持っているのか。

**答** 現在のところ組み立て式のものを300個、個人用で1回分のビニール製簡易トイレを2500個備蓄している。

**問** 兵庫県は4月に、東日本大震災から戻った県の保健師、看護師からの避難所の劣悪なトイレ環境についての報告を受け、80ページにも及ぶ手引書を作成した。市も災害時に備え、より実践的な手引書を作成してはどうか。

**答** 兵庫県で作成したものはかなり詳細に書かれている。現在、市町村レベルで作成しているところはないが、市が先駆けて、もっと分かりやすく、薄くてもいいので作れたらということ、研究したい。

## 工事に伴う問題の解決を！

関戸 勇 議員

**問** 米ノ井地域において、埋め立て、盛り土により水路が壊れている。土砂で水路がふさがれると水害の危険もある。土砂が流れ込まないように水路の確保をすべきと思うが。

**建設部長** 盛り土が起因していると思われる水路の損傷等については、発見次第、施工業者に対応を指導している。また、職員も随時パトロールしている。

**問** 埋め立て工事のためにコンクリートを砕いたものを敷き詰めて道路を拡張しているが、砕けた粉が田んぼに入り発育に違いが出ている。どう考えているのか。

**建設部次長** 地元の耕作者からも指摘を受けており、業者にも適宜指導している。

**問** 工事のために道路をかき上げたため、田んぼに機械が入れず稲刈りができない。こんなことが許されてよいのか。

**答** 道路または第三者に損害を与えたときは、申請者の責任において解決することを許可条件としているが、市としても業者への指導だけでなく、利用者との調整役としても入っていき

**問** 新たな土盛り計画があるが、業者はこれまで起きている事態に何カ月経っても対処していない。今起きている問題をしっかりと解決するのが先だと思うが。

**まちづくり振興部長** これまで起きた問題について対応するのは当たり前だと思う。新しい変更許可については、県から意見書が求められており、一部分ではこれ以上のかさ上げをやめる意見も出している。



## おもてなしの心を もって観光促進を

市村 達明 議員

**問** 観光資源について、舟運事業と七福神が主体事業としてホームページに掲載しているが現状は。

**建設部長** 舟運事業は、千葉、茨城の市町村で協議会を形成し、水辺を利用した取り組みを行っている。市も香取市など行った先々の舟運事業を見ている。

**まちづくり振興部参事** 七福神マップを使い、高齢者の方が多数市内のお寺を巡っている。

**問** 2つの事業についてツアーをやっていくということはなかったのか。

**答** コラボしたツアー的なものは組んでない。今後、検討したい。

**問** 産業振興戦略プラン以外に観光について示す計画はあるか。

**市長** 健康ウオーキングのためのさまざまなルートづくりをしており、観光とは少し逸脱するが、健康づくり等々と併せて地域資源をどう結びつけるかということになると思う。

**問** 観光が人の目に触れるように、市のホームページの観光協会へのリンクを大きな画像にしたり、バナーを用意してはどうか。

**政策推進部長** 観光協会等々、公共性が高い団体やイベントは取り上げていき、ビジュアル的にもPRできるような工夫している。また、市民が利用しやすいものを考え、検討していく。

**問** 月・木・SAYにリンクを貼ることはできるのか。

**広報広聴課長** 職員一人一人が情報を発信するということで、リンクを貼って案内することも行っている。

**「月・木・SAY」とは？**  
ホームページを、中心として、市職員が個人ページを、月曜日・木曜日を「ささやき」を感じたことを「ささやき」体験などを発信している。

## 自然エネルギーと 地域資源の活用

飯島 悠介 議員

**問** 自然エネルギーの活用は、どのような形で環境基本計画に載っているのか。

**まちづくり振興部長** 今後、計画の見直しの中で明記し、個別計画に入りたい。  
**問** 公共施設のファシリテイマネジメント（※1）に関して、施設の運営維持の合理化計画は。

**公共施設整備課副参事** インハウスESCO事業（※2）として、新電力会社や太陽光発電の導入に取り組んでいる。光熱水費等のデータを分析する手法もあるのだから考えていく。

**問** 我孫子市、流山市が取り組む、民間業者による施設の包括管理サービスと修繕立案についての取り組みは。

**答** 先進事例について調査、検討し、今後できるところから取り組んで行きたい。

**問** 空き家バンクの創設についての取り組みは。

**総務部長** 価値の低い物件が残るのではないかと心配している。もう少し研究が必要と考えている。

**問** 市のリバースモーゲージ（※3）の活用実績は。

**健康福祉部長** 5人の相談を受けたが、条件が厳しく相談で終わっている。  
**問** アクシオンプランの設定なども踏まえ、地域資源をどう生かすかという点で、全庁的なワーキングチームを作るべきと考えるが。

**副市長** 全庁的にまたがる非常に重要な問題に関して、検討していきたい。  
※1 ファシリテイマネジメント：土地、建物、設備等を経営にとって最適な状態で保有、運営し、維持するための総合的な管理手法。  
※2 インハウスESCO事業：組織内において職員

が自ら取り組み省エネルギー改善事業。  
※3 リバースモーゲージ：自宅を担保に年金または一時金を受け取り、返済は借主が亡くなった際、担保となつている自宅を、貸主が売却することにより返済される仕組み。

## スポーツ大会出場 奨励金

赤羽 直一 議員

**問** 藤代高校の甲子園出場に対して、奨励金は500万円であったが、スポーツ大会出場奨励金要綱を見ると、高校野球以外は、関東以外で開催される全国大会でも1団体4万5000円となっている。なぜこんなに差があるのか。

**教育部長** スポーツ奨励金の額については、市民のスポーツへの意欲を高め、技術力の向上を推進するた

め、27年度から増額する旨の見直しを行っている。高校野球は全国規模で行われ、テレビ放映もあることから、非常に市のPRになるといった意見もあり、了承を得ている。

**問** 奨励金の見直しを始めたとのことだが、10倍にしても高校野球の10分の1以下である。どのように考えているのか。

**答** 昨年の実績で、全体で120万円奨励金を支出している。10倍にするとすごい金額になる。近隣の類似の市町村を見比べ、参考にしていきたい。

**問** 財政が厳しいというところだが、高校野球は特別に200万円上げている。そのほかの部分についても大胆に見直すべきでは。

**市長** 種目によって難易度も相当違い、また資金集めの体制とか、いろいろなものが競技によっても異なるので、総合的に考えていく。金額は、基本的には上げていく。

**計画的な広報を！**

渡部 日出雄 議員

**問** 市内の新聞をとっていない世帯に対して、ウエルネスプラザを広報する手段について、どのように考えているか。

**都市整備部次長** 広報とりで、ホームページ、民間動画サイトなど様々なメディアを通して周知している。また、ウエルネスプラザの施設イメージを駅前で映し、通る方々にPRしている。

**問** 取手市民以外の多数の利用者を予想しているが、対象となる人の認知度は把握しているのか。

次の定例会は、  
11月27日(木曜日)  
開会の予定です。

く。また9月から、取手駅東口の交通広場にある河川情報表示盤で、多目的ホールやキッズプレイルームなどの施設を紹介している。  
**市長** 県民大学の会場を取手で相当増やしている。この流れでウエルネスプラザの会議室、多目的ホールの利用が見込める。  
**問** 広報活動には、駅やバス停への常設看板の設置や広告代理店を利用する方法もあるが。

**都市整備部長** ウエルネスプラザの管理には指定管理も視野に入れて検討しており、建物が完成し、オープンまでの3ヵ月間、指定管理者の業務の中にPR活動を考えている。また広告代理店等の利用も考えている。

**問** 工事現場の囲いパネルを使った看板を検討しては。



# 平成 26 年第 3 回定例会の議決結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。  
議長（佐藤隆治議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

種別	件名	議決結果	賛否数		会派名、議員名及び賛否の別																							
					創世クラブ					はやぶさ			公明党			日本共産党			鴻志会	民主会	志正会	彰考会	とりで生活者	維新の党※				
					賛	反	石井	川又	山野井	吉田	入江	佐藤(隆)	渡部	金澤	佐藤(清)	赤羽	落合	染谷	阿部	齋藤	関戸	鈴木	遠山	加増	倉持	平城	結城	飯島
市長提出	税条例の一部改正	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校設置条例の一部改正	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業活動支援条例の一部改正	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	取手市と茨城県信用保証協会の損失補償金寄託契約に基づく回収金の返還を受ける権利の放棄に関する条例の一部改正	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自転車競走実施条例の一部改正	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 26 年度取手市取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度一般会計決算	認定	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度取手駅西口都市整備事業特別会計決算	認定	14	9	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	平成 25 年度用地先行取得事業特別会計決算	認定	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度国民健康保険事業特別会計決算	認定	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度後期高齢者医療特別会計決算	認定	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度介護保険特別会計決算	認定	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度介護サービス特別会計決算	認定	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成 25 年度競輪事業特別会計決算	認定	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	消費税増税の中止を求める意見書	原案可決	16	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	原発事故に起因した地域指定に拘らない全国を対象としての健康診査の実施を求める意見書	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願・陳情	教育予算の拡充を求める請願	採択	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	政府による緊急の過剰米処理を求める請願	不採択	9	14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願	不採択	6	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	養育者支援手当の創設と実施を求める請願	不採択	9	14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新道根柄急傾斜地・市道の安全対策を求める請願	趣旨採択	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子どもたちの放射能被ばくに対する集団健康診断のすみやかな実施を求める陳情書	趣旨採択	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	取手市版「自治基本条例」制定についての陳情書	採択	21	2	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
庁議付議書、新フォーマット制定についての陳情書	不採択	6	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		

会派名：彰考会=彰考会@取手、とりで生活者=とりで生活者ネットワーク  
※会派「結いの党」は、第 3 回定例会中に「維新の党」に名称を変更しました。

以下の議案・意見書案・陳情は、全員賛成で原案可決、承認、認定、趣旨採択と決しました。

## ○市長提出議案

(原案可決) 行政財産使用料徴収条例の一部改正、福祉事務所設置条例及び医療福祉費支給に関する条例の一部改正、取手市営住宅条例の一部改正、市道 0130 号線の区域外設置、平成 26 年度一般会計補正予算、平成 26 年度国民健康保険事業特別会計補正予算、平成 26 年度後期高齢者医療特別会計補正予算、平成 26 年度介護保険特別会計補正予算、高規格救急自動車購入契約の締結、特別養護老人ホームふれあいの郷の設置及び管理に関する条例等の一部改正

(承認) 平成 26 年度一般会計補正予算の専決処分の承認

(認定) 平成 25 年度取手地方公平委員会特別会計決算

## ○意見書案

(原案可決) 軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書、奨学金制度の充実を求める意見書、「危険ドラッグ（脱法ハーブ）」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書、産後ケア体制の支援強化を求める意見書、滝下橋の完全復旧と（仮称）新滝下橋建設の早期着工を求める意見書

## ○陳情

(趣旨採択) 学校給食食材の入札に関わる陳情